

### ロゴマーク表彰式が行われました。

（担当課：文化財課）

開館20周年を迎えた東北歴史博物館のイメージと認知度の向上を図り、東北の存在を広く世界に発信することを目的に制作されたロゴマークの表彰式が行われました。

#### 【概要】

- 日 時 令和２年６月６日（土）  
10:30～10:45
- 場 所 東北歴史博物館1階 中央ロビー



## 東北歴史博物館

TOHOKU HISTORY MUSEUM



#### <ロゴマークの意味>

6層に分かれた横線は東北6県、上の曲線は羽ばたく鳥を表し、全体で東北の歴史を世界に発信する博物館を示しています。

作 者：佐藤 絵美 氏（東北生活文化大学高校3年(当時)）

応募数：299作品

### フェイスシールド贈呈のため聴覚支援学校の生徒が教育長を表敬訪問しました。

（担当課：特別支援教育課）

聴覚支援学校の生徒が、社会貢献の一助として、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために製作したフェイスシールド165個を、県立学校の養護教諭に贈呈するため県教育委員会を表敬訪問しました。

#### 【概要】

- 日 時 令和２年６月８日（月）14:00～14:15
- 場 所 宮城県行政庁舎16階 教育長室
- 訪問者 高等部3年 菅野 陽文, 中村 優成, 吉城 唯翔, 専攻科1年 早坂 雄誠  
校長 三浦 康宏, 教頭 高城 邦弘, 教諭 伊藤 朝子, 実習助手 板垣 昌悦



1

2

**県内の高校生でつくるボランティア団体「高校生連携協議会」の生徒及び関係者が意見書提出のため、教育次長を訪問しました。** (担当課：高校教育課)

仙台青年会議所で主催している「子どもの生きる力創出事業」の一環として、仙台市内の高校に通う生徒を対象に実施したアンケート調査を参考に選定した議題について、高校生がオンラインサミットで話し合った結果をまとめた意見書の提出がありました。

**【概要】**

- 日時 令和2年6月10日(水)  
18:00～18:10
- 場所 宮城県行政庁舎16階 教育庁会議室
- 訪問者 仙台青陵中等教育学校5年 佐々木 淳大(代表), 大久保 明香  
同校4年 會田 幸千, 柴田農林高校1年 和光 さくら  
仙台青年会議所理事長 木皿 譲司, 副理事長 古川 直磨, 事務室長 福重 祐作  
国際社会をたくましく生きる子ども育成委員会委員長 大高 成美

3



**大崎市立鳴子中学校で地域の災害特性に特化した避難訓練が実施されました。**

(担当課：スポーツ健康課)

大崎市立鳴子中学校において、「生徒の自らの身を守り、乗り切る力」知識を備え、行動する能力」の育成を目指し、地震の発生と地域の災害特性である鳴子ダムの決壊を想定した避難訓練が実施されました。

**【概要】**

- 日時 令和2年6月17日(水)  
11:45～12:35
- 場所 大崎市立鳴子中学校
- 内容 ①地震発生時の昇降口前広場への一次避難  
②ダム決壊時の高所への二次避難  
※朝読書の時間に、防災教育副読本「未来へのきずな」を活用した事前学習指導も実施。

＜鳴子中学校における地域の災害特性＞  
学校の南側を流れる江合川の上流に位置する鳴子ダム決壊による河川の氾濫を想定。

- ＜4つの防災対応能力＞
- ①自らの身を守り、乗り切る力
  - ②知識を備え、行動する能力
  - ③地域の安全に貢献する能力
  - ④安全な社会を立て直す能力

4

